

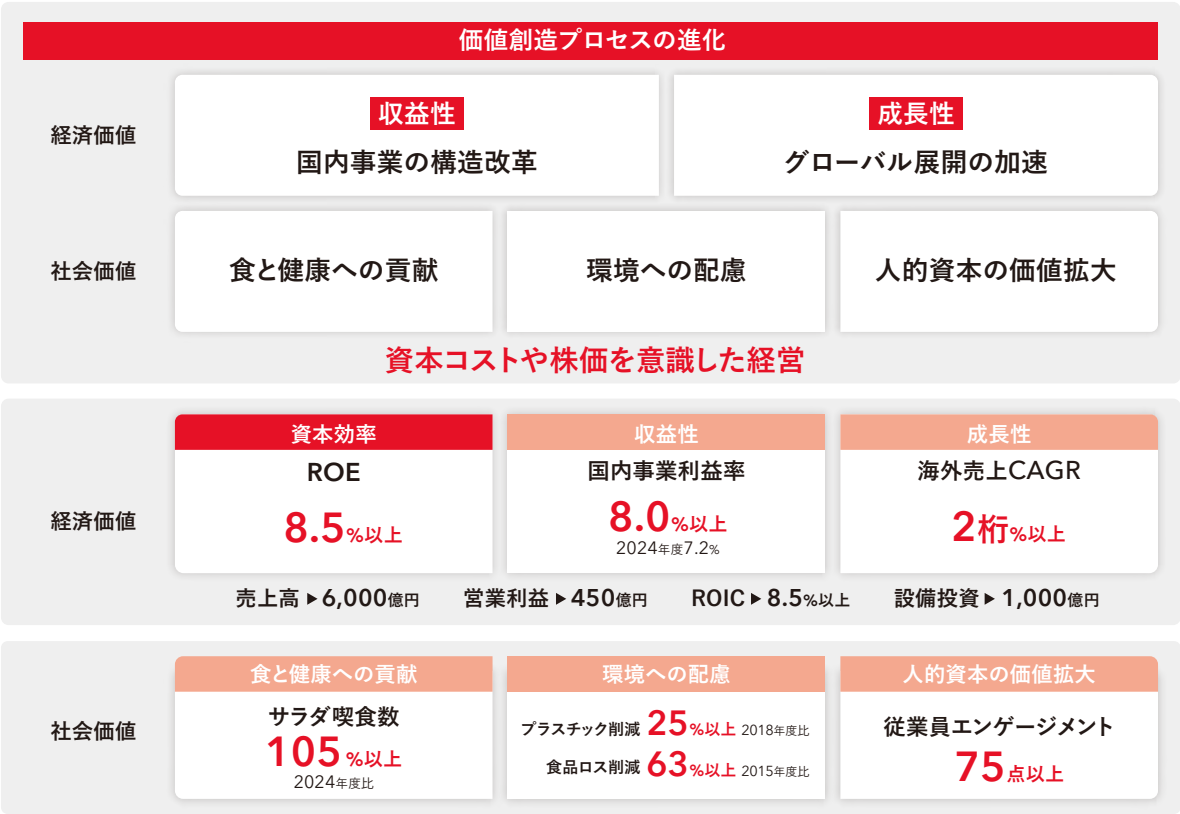
中期経営戦略

キューピーグループは、「Change & Challenge」をテーマに、成熟市場での経営効率化と成長領域への投資加速を図る新中期経営計画を策定しました。国内事業の構造改革とグローバル展開の加速を軸に、食と健康、環境、人的資本への取り組みを推進し、社会価値と経済価値の創出をめざすとともに、2028年度にROE8.5%以上の達成を目標としています。

めざす姿 2030ビジョン

～Change & Challenge～

成熟市場での経営効率化と成長領域への投資加速



キューピーグループの 2025-2028年度中期経営計画

世界の食と健康への貢献をめざす経営理念のもと、2025年度から2028年度までの4年間を対象とする新中期経営計画を策定しました。この計画は、過去4年間で直面した新型コロナウイルス感染症、地政学リスクの増加、高病原性鳥インフルエンザの流行といった想定外のリスクを乗り越えた経験を活かし、「再成長ステージ」と位置づけています。

新中期経営計画のテーマは「～Change & Challenge～ 成熟市場での経営効率化と成長領域への投資加速」です。「サラダ・ウェルネス・サステナビリティ」を価値創造ドメインとし、「国内事業の構造改革」、「グローバル展開の加速」、「食と健康への貢献」、「環境への配慮」、「人的資本の価値拡大」の5つの重点戦略を推進します。

あわせて、未来につながる投資を拡大し、経営の質的転換を図ることによって、新中期経営計画のテーマを実現します。2028年度の経営数値目標は、経済価値として「ROE」「国内事業利益率」「海外売上CAGR」を指標とし、資本効率を重視しながら国内・海外共に稼ぐ力を高めていきます。社会価値については「サラダ喫食数」「プラスチック削減」「食品ロス削減」「従業員エンゲージメント」を経営数値目標として取り組んでいきます。

持続的な成長と企業価値の向上を実現し、すべてのステークホルダーの期待に応えていきます。